

# Informix ODBC への移行ガイド

Informix Customer Services Department

INF\_ODBC\_MIG Ver 1.1

InformixClientSDK, InformixODBCはInformix Software, Inc.の登録商標です。

MERANT ODBC 3.50、INTERSOLV 3.01 V3.10,V3.11 はMERANT 株式会社の登録商標です。

**注意**

1. インフォミックス株式会社からの書面による承諾を得ずに、本書の内容の一部または全部を無断で、複製、複写、転載、翻訳、頒布することを禁止します。
2. 本書の内容は、製品の改良により将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の商品性、特定目的に対する適合性に関して、インフォミックス株式会社は保証いたしません。
- 4 本書に関する御質問に対しては、弊社オープンラインにて本書に記述する範囲でお受け致します。
5. 本書の内容については万全を期して作成しましたが、万一記載内容の誤りなどお気づきの点がございましたらインフォミックス株式会社までご連絡ください。
6. 運用した結果の影響については、5項にかかわらずインフォミックス株式会社は責任を負いかねますのでご了承ください。

# Informix ODBC 3.32 への移行ガイド

## 1. ClientSDK 2.50 に付属している『DSN Migration Utility』を使用して、Informix ODBC3.32 へ Migration 可能な ODBC 製品 一覧

- Informix-CLI 2.5 (32 bit)
- INFORMIX 2.70 32 BIT
- INFORMIX 2.80 32 BIT
- INTERSOLV 3.01 32-BIT INFORMIX
- INTERSOLV 3.10 32-BIT INFORMIX 9
- INTERSOLV 3.11 32 BIT INFORMIX 9
- INFORMIX 3.30 32 BIT
- INFORMIX 3.31 32 BIT

注1) 『DSN Migration Utility』は DSN(DataSourceName)を InformixODBC 3.32 に移行するユーティリティです。

このツールは Windows にも適用されるものとなっており、ClientSDK2.30.TC1 以降の製品に添付されています。

注2) 『DSN Migration Utility』を使用して MERANT ODBC 3.50 から Informix ODBC3.32 への移行はサポートされておりません。従って DSN を新規に作成する必要があります。その為の参考資料として別表1をご参照ください。

別表 1 は Informix ODBC 3.20 と MERANT ODBC 3.50 の ODBC 機能についての比較表です。

## 2. 移行方法

### Part 1: ClientSDK2.30 以降を対象とした移行方法

DSN Migration Utility を使用しての ODBC マイグレーション

注意事項:

- このユーティリティは、Informix or INTERSOLV の Driver にのみ使用できます。
- このユーティリティが含まれている製品にバンドルされているバージョンの Informix ODBC driver へのマイグレーションのみが可能となります。
  
- ClientSDK2.30 ではマニュアルによる方法のみ使用できます。
  
- ClientSDK2.40、ClientSDK2.50 では GUI による方法のみ使用できます。
  
- ClientSDK2.50 で使用する場合、GUI でファイル DSN の移行を行うことはできませんので、マニュアルで行うか、データソースアドミニストレータより新規に作成し直してください。

=====

**DSN マイグレーションユーティリティ(マニュアル)使用方法について**

=====

移行手順:

- 1).マイグレーションを行なう前に、移行する DSN の種類を決定する必要があります。

DSN の種類:

ユーザー DSN

ユーザー DSN は、作成したユーザのみが使用できます。

システム DSN

全てのユーザが使用できます。

ファイル DSN

設定ファイルに権限のあるユーザのみが使用できます。

- 2).フォーマット1のように記述されたファイルを作成します。

フォーマット 1:

-----

[ 移行したい DSN の種類 ]

<対象となる DSN の名前>=<移行したい Driver の名称、もしくは元に戻す場合には"Restore">

※)ファイル DSN の場合には、設定ファイルの PATH を記述します。

例:

[User DSN]

TEST1=INFORMIX 3.32 32 BIT

TEST2=Restore

[System DSN]

TEST3=INFORMIX 3.32 32 BIT

[File DSN]

C:\Program Files\Common Files\ODBC\Data Sources\TEST4.dsn=INFORMIX 3.32 32 BIT

3).DSN で、データソースアドミニストレータの“Advanced”タブにある機能を使用する場合には、“Auto Commit On Optimization”セクション及び、“Report Standard ODBC”セクションを作成したファイルに、[Options]を追加する必要があります。

機能の詳細については、マニュアル、リリースノートにて、内容を確認してください。

例:

[User DSN]

TEST1=INFORMIX 3.32 32 BIT

[Options]

AutoCommitOptimization=N

StdODBCTypesOnly=N

[System DSN]

TEST3=Restore

[File DSN]

C:\Program Files\Common Files\ODBC\Data Sources\TEST4.dsn=INFORMIX 3.32 32 BIT

※) ClientSDK2.30.TC1 で使用する場合、Option 機能については、固定で設定されますので、移行後、データソースアドミニストレータより、設定し直してください。

4).以下のコマンドを実行します。

%INFORMIXDIR%\bin\%dsnMigrate.exe -f <作成したファイル名>

5).データソースアドミニストレータを起動し、DSN の Driver が正しく設定されているか、確認してください。

※)ファイル DSN の場合には、データソースアドミニストレータで指定されている \*.dsn ファイルをノートパッド等で開き、“DRIVER=”の部分に設定されている Driver が、正しいか確認してください。

6).ファイル DSN 以外の DSN を移行した場合、以下の作業が必要になります。

1.データソースアドミニストレータで移行した DSN を選択し、右側にある“構成”ボタンをクリックします。

2.“Enviroment”タブをクリックし、下記の内容を設定します。

Client Locale

Database Locale

3.“Connection”タブをクリックし、下記の内容を設定します。

Password

4.“OK”ボタンをクリックし、データソースアドミニストレータを終了します。

DSN マイグレーションユーティリティを使用した場合、以下のファイルが、下記ディレクトリに保存されます。

ログファイル:%INFORMIXDIR%\release\%dsnMigr.log

リストアの設定ファイル:%INFORMIXDIR%\release\%dsnMigr.sav

---

---

## DSN マイグレーションユーティリティ(GUI)使用方法について

---

---

### 起動方法:

DSN マイグレーションユーティリティを起動するには、%INFORMIXDIR%\bin\dsnMigrate.exe をダブルクリックすると、ダイアログが表示されます。

### 移行手順:

1).マイグレーションをおこなう前に、移行する DSN の種類を決定する必要があります。

#### DSN の種類:

ユーザー DSN

ユーザー DSN は、作成したユーザのみが使用できます。

システム DSN

全てのユーザが使用できます。

ファイル DSN

設定ファイルに権限のあるユーザのみが使用できます。

2).DSN マイグレーションユーティリティを起動します。

3).移行したい DSN が登録されている DSN の種類に該当する上部タブをクリックし、リストボックスから対象となる DSN を選択します。

ファイル DSN の場合、Browse ボタンをクリックすることで、ファイルへの PATH を選択することができます。

※).ClientSDK2.50.TC1 で使用する場合、ファイル DSN は使用できませんので、選択しないでください。選択した場合には、下にある“キャンセル”ボタンを選択し、一旦終了させてください。

4).右側にある“Change To”セクションで、移行したいセクションを選択します。

・移行後、元の Driver に戻したい場合には、“Restore to Original”をクリックします。

・選択した内容を消去したい場合や、他の Driver を選択し直す場合には、  
"Clear Selection"をクリックします。

5).DSN で、データソースアドミニストレータの"Advanced"タブにある機能を使用する場合には、  
"Auto Commit On Optimization"セクション及び、"Report Standard ODBC"セクションを選択  
します。

詳細については、マニュアル、リリースノートにて、内容を確認してください。

6).上記内容を確認後、下の"OK"ボタンをクリックします。

7).データソースアドミニストレータを起動し、DSN の Driver が正しく設定されているか、確認して  
ください。

※)ファイル DSN の場合には、データソースアドミニストレータで指定されている \*.dsn ファイルを  
ノートパッド等で開き、"DRIVER="の部分に設定されている Driver が、正しいか確認してくだ  
さい。

8).ファイル DSN 以外の DSN を移行した場合、以下の作業が必要になります。

1. データソースアドミニストレータで移行した DSN を選択し、右側にある"構成"ボタンを  
クリックします。

2."Environment"タブをクリックし、下記の内容を設定します。

Client Locale

Database Locale

3."Connection"タブをクリックし、下記の内容を設定します。

Password

4."OK"ボタンをクリックし、データソースアドミニストレータを終了します。

DSN マイグレーションユーティリティを使用した場合、以下のファイルが、  
下記ディレクトリに保存されます。

ログファイル:%INFORMIXDIR%\release\dsnMigr.log

リストアの設定ファイル:%INFORMIXDIR%\release\dsnMigr.sav

**Part2: ClientSDK2.50 のみを対象とした方法(GUI のみ使用)**

DSN Migration Utility を使用しての ODBC マイグレーション

注意事項:

- このユーティリティは、Informix or INTERSOLV の Driver にのみ使用できます。
- このユーティリティが含まれている製品にバンドルされているバージョンの Informix ODBC driver へのマイグレーションのみが可能となります。
- ClientSDK2.50.TC1 で使用する場合、GUI でファイル DSN の移行を行うことはできませんので、マニュアルで行うか、データソースアドミニストレータより新規に作成し直してください。

=====

**DSN マイグレーションユーティリティ(GUI)使用方法について**

=====

起動方法:

DSN マイグレーションユーティリティを起動するには、%INFORMIXDIR%\bin\dsnMigrate.exe をダブルクリックすると、ダイアログが表示されます。

移行手順:

- 1).マイグレーションを行なう前に、移行する DSN の種類を決定する必要があります。

DSN の種類:

ユーザー DSN

ユーザー DSN は、作成したユーザのみが使用できます。

システム DSN

全てのユーザが使用できます。

ファイル DSN

設定ファイルに権限のあるユーザのみが使用できます。

- 2). DSN マイグレーションユーティリティを起動します。
  - 3). 移行したい DSN が登録されている DSN の種類に該当する上部タブをクリックし、リストボックスから対象となる DSN を選択します。
  - 4). 右側にある“Change To”セクションで、移行したいセクションを選択します。
    - ・移行後、元の Driver に戻したい場合には、“Restore to Original”をクリックします。
    - ・選択した内容を消去したい場合や、他の Driver を選択し直す場合には、“Clear Selection”をクリックします。
  - 5). DSN で、データソースアドミニストレータの“Advanced”タブにある機能を使用する場合には、“Auto Commit On Optimization”セクション及び、“Report Standard ODBC”セクションを選択します。

詳細については、マニュアル、リリースノートにて、内容を確認してください。
  - 6). 上記内容を確認後、下の“OK”ボタンをクリックします。
  - 7). データソースアドミニストレータを起動し、DSN の Driver が正しく設定されているか、確認してください。
- ※) ファイル DSN の場合には、データソースアドミニストレータで指定されている \*.dsn ファイルをノートパッド等で開き、“DRIVER=”の部分に設定されている Driver が、正しいか確認することができます。
- 8). ファイル DSN 以外の DSN を移行した場合、以下の作業が必要になります。
    1. データソースアドミニストレータで移行した DSN を選択し、右側にある“構成”ボタンをクリックします。
    2. “Enviroment”タブをクリックし、下記の内容を設定します。
      - Client Locale
      - Database Locale
    3. “Connection”タブをクリックし、下記の内容を設定します。
      - Password

4.“OK”ボタンをクリックし、データソースアドミニストレータを終了します。

DSN マイグレーションユーティリティを使用した場合、以下のファイルが、下記ディレクトリに保存されます。

ログファイル:%INFORMIXDIR%\release\dsnMigr.log

リストアの設定ファイル:%INFORMIXDIR%\release\dsnMigr.sav